8. 卒業要件・資格等

1) 卒業要件

本学を卒業するには、4年（編入学・転入学の規程により入学した方は、その在学すべき年数）以上在学し、別に定める授業科目から、分野ごとに定められた単位以上を履修し、合計で126単位以上の履修が必要となります。

授業科目の区分	必要修得単位数		備考
	必修科目	選択科目	
生命・健康基盤分野	33 単 位	10 単位以上	
基盤臨床・適応看護システム分野	56 単 位		
グローバル・コミュニティ適応看護システム分野	27 単 位		
必要修得単位数合計	116 単 位	10 単位以上	合計 126 単位以上

2) 学位記の授与（全学生共通）

卒業を認定された者に対して、学位記の授与を行います。

学位：学士（看護学）

3) 卒業時の取得資格（全学生共通）

所定の単位を修得することにより、次の資格が取得できます。

看護師国家試験受験資格	卒業要件単位数を修得した者
保健師国家試験受験資格	卒業要件単位数の他、別に定める単位を修得した者

9. 保健師コース（保健師国家試験受験資格取得希望者）

1) 保健師コースの履修

保健師コースを履修するには、学内選考試験に合格する必要があります。

・履修申込手続きは、2年後期に行う予定です。

・履修者は、選考により決定します。選考方法は以下を予定しています。

選考時期：2年後期単位認定試験期間後

選考方法：学内成績・筆記試験・面接・志望理由書の総合判定

（選考方法は現時点での予定です。）

・保健師コースを履修する場合は、課程履修費として80,000円が必要になります。

・学外実習における交通費等は自己負担になります。

2) 保健師コースの履修科目

保健師国家試験受験資格を取得するには、卒業に必要な単位に加え、下記の科目を修得する必要があります。

疫学Ⅱ	1 単位（選択科目）
保健統計学	1 単位（選択科目）
公衆衛生看護管理論Ⅱ	2 単位（自由科目）
健康危機管理論	1 単位（自由科目）
個人・家族援助論Ⅰ	1 単位（選択科目）
個人・家族援助論Ⅱ	2 単位（自由科目）
集団・組織援助論Ⅰ	1 単位（選択科目）
集団・組織援助論Ⅱ	2 単位（自由科目）
産業保健	1 単位（自由科目）
学校保健	1 単位（自由科目）
公衆衛生看護活動展開論	2 単位（自由科目）
公衆衛生看護学実習	5 単位（自由科目）
保健医療福祉行政論	1 単位（自由科目）
合計	21 単位

- ※上記科目のうち、公衆衛生看護学実習以外の科目に関しては、保健師コース以外の学生も履修できます。但し、自由科目については卒業要件単位数には含まれません。
- ※保健師コース修了者には学修証明書の発行を行います。

<保健師国家試験受験資格取得希望者の履修モデル（必修科目を除く）>

1年	2年	3年	4年
—	—	個人・家族援助論Ⅰ（前） 集団・組織援助論Ⅰ（前） 産業保健（前） 学校保健（前）	疫学Ⅱ（前） 保健統計学（前） 公衆衛生看護管理論（前） 健康危機管理論（前） 個人・家族援助論Ⅱ（前） 集団・組織援助論Ⅱ（前） 公衆衛生看護活動展開論（前） 公衆衛生看護学実習（前） 保健医療福祉行政論（前）

3) 養護教諭二種免許

保健師免許を取得した上で、以下の科目を履修した場合、申請により、養護教諭二種免許が取得できます。（選択科目・自由科目のみ記載）

コンピューターリテラシー	1単位（選択科目）
体育理論	1単位（選択科目）
体育実技	1単位（自由科目）
人間と法（日本国憲法）	2単位（選択科目）

- ・養護教諭二種免許に関しては、コース申込手続きは行いません。通常の履修登録の際に登録してください。
 - ・自由科目については、卒業要件に含まれません。
 - ・体育実技の履修には、体育理論の受講が必要です。
- 詳細は下記の養護教諭二種免許取得希望者の履修モデルを参照してください。

<養護教諭二種免許取得希望者の履修モデル（必修科目を除く）>

1年	2年	3年	4年
コンピューターリテラシー（前） 体育理論（前） 体育実技（通） 人間と法（日本国憲法）（後）	—	個人・家族援助論Ⅰ（前） 集団・組織援助論Ⅰ（前） 産業保健（前） 学校保健（前）	疫学Ⅱ（前） 保健統計学（前） 公衆衛生看護管理論（前） 健康危機管理論（前） 個人・家族援助論Ⅱ（前） 集団・組織援助論Ⅱ（前） 公衆衛生看護活動展開論（前） 公衆衛生看護学実習（前） 保健医療福祉行政論（前）

10. 国際看護コース

1) 国際看護コースの履修

コース履修申込手続きは3年前期に行う予定です。

履修者は選考により決定する場合があります。選考方法に関しましては、2年次にお知らせします。なお、コースに関する

る説明を、1年次後期に行います。

2) 国際看護コースの履修科目

国際看護コースを履修する場合、卒業に必要な単位に加え、以下の科目を修得する必要があります。

国際看護論Ⅱ	1 単位 (自由科目)	
フィールドスタディⅠ	2 単位 (自由科目)	フィールドスタディⅠ・Ⅱ から1科目以上選択
フィールドスタディⅡ	2 単位 (自由科目)	
合計	3 単位以上	

※フィールドスタディⅠ・Ⅱに要する海外実習費は自己負担となります。

※国際看護コースを選択しない場合であっても、「国際看護論Ⅱ」は、通常の自由科目として履修することができます。但し、自由科目であるため、卒業要件には含まれません。

※国際看護コース修了者には学修証明書の発行を行います。

【国際看護コース希望者の履修モデル】

1 年	2 年	3 年	4 年
—	—	国際看護論Ⅱ (前) フィールドスタディⅠ (前) フィールドスタディⅡ (前) (Ⅰ・Ⅱから1科目以上)	フィールドスタディⅠ (前) フィールドスタディⅡ (前) (Ⅰ・Ⅱから1科目以上)

11. グローバル・スタディーズコース

1) グローバル・スタディーズコースの履修

グローバル・スタディーズコースを履修するには、学内選考試験に合格する必要があります。

・履修申込手続きは、1年前期に行う予定です。

・履修者は、選考により決定します。選考方法は以下を予定しています。

選考時期：1年前期

選考方法：志望理由書（日本語・英語）、作文（英語）、面接の総合判定

（選考方法は現時点での予定です。）

2) グローバル・スタディーズコースの履修科目

グローバル・スタディーズコースを履修する場合、卒業に必要な単位に加え、以下の科目を履修する必要があります。

English Communication	1 単位 (自由科目)
Intercultural Awareness	1 単位 (自由科目)
English Practice Abroad	3 単位 (自由科目)
合計	5 単位
上記以外にグローバル・スタディーズコース履修者科目として以下の科目を開講します。但し、コース修了要件には含まれません。	
Practical English skills	1 単位 (自由科目)

※「English Practice Abroad」（海外における語学研修科目）に要する費用は一部を除き自己負担となります。

※上記4科目は、グローバル・スタディーズコース選択者以外は履修できません。

※自由科目については、卒業要件に含まれません。

※グローバル・スタディーズコース修了者には学修証明書の発行を行います。

【グローバル・スタディーズコース希望者の履修モデル】

1 年	2 年	3 年	4 年
English Communication (後)	English Practice Abroad (前) Intercultural Awareness (後)	※Practical English skills (前)	—

※Practical English skills はコース修了要件には含まれません。

《履修モデルについて》

別に記載する、保健師・国際・グローバルスタディーズ・養護教諭二種に関する履修モデルは、コース履修又は資格取得に最低限必要な科目のみを記載していますので、卒業要件を満たすには、必修科目及び定められた単位数以上の選択科目の履修が必要です。

選択科目については、シラバスに記載されている科目の内容を参考に、将来の進路を意識した科目選択や、より理解を深めたい科目から選択してください。